

平成 18 年 6 月 20 日

内閣府特命担当大臣
(科学技術政策、食品安全)
松 田 岩 夫 殿

日本理科教育学会会長
川 上 昭 吾

理科教育の充実について（要望）

理科教育の果たす役割は、自然体験を通して豊かな感性や心の育成を図り命の大切さを認識させるため、国民の科学的な教養を高めるため、科学技術者養成の基礎教育のため、環境教育や防災教育を充実させるため、国際学力テスト（TIMSS、PISA）の成績の維持・向上を図るため、などこれからの子どもやわが国にとって実に大きいものがあると考えます。

このような視点に立ち、科学技術創造立国を目指すわが国の国家戦略として理科教育の重要性を教育目標に掲げ、日々多忙な教員が実験観察の準備や整理を伴う理科授業を充実して進めることができるよう理科に関する教育的環境の整備を図ることをお願いいたします。

具体的には、**理科室の現代化**（その予算的措置としての理科教育振興法による補助金の充実）、それに伴う**理科授業の充実、体験学習の充実、教員養成段階での理科教育の充実**、などの推進をお願い致します。